

いきいきライフみやぎ

エイジングマガジン



2012年9月20日発行

発行 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2-3
TEL.022-223-1171 FAX.022-223-1151
ホームページ http://www.miyagi-sfk.net/
(※トップページの「広報」で紙面を閲覧できます)
企画編集 河北新報社
協力 宮城北北会

INDEX

- 2 三屋裕子さんインタビュー
- 3-5 ねんりんピック宮城・仙台特集
- 6 体操のページ
- 7 イベント・トピックス/お好みシネマ缶
- 8 ピックアップ
- 10 宮城いきいき便り
- 11 SUNクラブニュース
- 12 いきいきサロン
- 13 三屋裕子さん講演会/短歌/俳句/川柳
- 14 Q&A



「大会実行委員会会長としての私の大事な任務の一つは、大会期間中の空を晴れさせること」と、自他ともに認める「晴れ男」の村井知事

交流深め、復興にも弾み

村井知事…そうですね、開催に当たっては、県民挙げて全国から参加する方々をもてなし、地域や世代を超えた交流に努め、宮城・仙台らしい大会にしたいと考えています。

また、今大会は「高齢者の生きがい・健康づくり」だけでなく「復興」「感謝」をキーワードアップした大会となります。われわれ県民は大会を通じて支援への感謝を伝え、全国からの参加者には復興

の息吹を感じてもらいたいです。編…開催に期待することは？

村井知事…大会目標にも掲げている通り、全国の元気な高齢者と触れ合うことで、健康への関心や生涯現役の心意気をより高めていただきたい。各地から約8000人の選手が来県し、宿泊した

全国の方と交流することが何よりの力になると信じていますし、地元経済の活性化にもつなげたいです。

編…震災後、大会開催を決めたわけは？

村井知事…決断したのは、震災の混乱冷めやらぬ昨年の8月でした。残念ながら沿岸部の市町の一部は競技開催を断念せざるを得ませんでした。被災地にとって震災が風化してしまつのは辛いこと。全国的に交流すること

編…震災後、大会開催を決めたわけは？

村井知事…総合開会式で沿岸部10市町のビデオレターを放映する他、総合開会式会場に併設した「ふれあい広場」や夢メッセージのイベント会場に震災復興ゾーンを設け、宮城のこれまでの復興への歩みや感謝のメッセージなどを伝えます。

編…県民と全国からの参加者にメッセージを。

村井知事…県民の皆さんには、おそろいのユニホームを着た人たちを見掛けたら明るくあいさつをするなど、気持ちよくお客さまに接してほしいと思います。訪れた土地で出会った方が親切ですと、その土地のイメージが良くなるものですね。

一方、参加者の皆さんに申し上げたいことは10月の宮城は一年の中でも、とりわけ過ごしやすい季節です。県内を巡り、飲んで食べてお土産を買い、思う存分宮城を楽しんでください。そして大会の後、家族や友人を連れてまた遊びに来てください。多くの方に来ていただくことが宮城の元気につながります。

ねんりんピック宮城・仙台2012

一問一答

宮城県知事・大会実行委員会会長

村井嘉浩

むすび丸

むすび丸の知事へ 一問一答

むすび丸：今大会は18競技が行われるけど、知事はどれが面白そう？

村井知事：どれも面白そうだけど…

あえて言うなら、国体やインターハイにない太極拳や健康マージャンかな。あとは弓道。

弓道は、自分の体力に合わせて取り組めて、心身の鍛錬や礼儀作法に重点を置くのがいいよね。私の趣味は、同じく礼儀作法を大切にしている茶道。通じるところがある。健康マージャンは「賭けない、飲まない、吸わない」がモットーで、最近は女性の愛好者も多いそうだね。脳の活性化にもつながるとか。コミュニケーションが取れるのもいい。それに「手」には性格が表れるんだそうだよ(笑)。